

令和 6 年度事業報告(案)

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成 19 年法律第 59 号）第 5 条第 1 項の規定に基づく愛媛県地域公共交通計画及び同法第 27 条の 16 第 1 項の規定に基づく愛媛県利便増進実施計画【私鉄版】の作成に関して必要な協議を行うとともに、南予南部地域において地域自らがデザインする地域公共交通の実現に向けた調査事業を実施した。

1 運営に関する事業（54,282 円）

新たな県地域公共交通計画の策定に向けて同計画の案を作成するとともに、愛媛県地域公共交通利便増進計画【私鉄版】の策定に向けた意見聴取を行った。また、地域間幹線系統を中心に、地域公共交通の維持、確保、再編に係る事項を協議した。

（1）愛媛県地域公共交通網再編協議会の開催

第 1 回 令和 6 年 6 月 14 日

第 2 回 令和 6 年 9 月 13 日（書面開催）

2 南予南部公共交通アクセス向上に関する事業（4,656,250 円）

予土線沿線を含む南予南部地域において、医療、教育、福祉などの関係機関における移動ニーズもふまえながら、新たな交通体系を当該機関等とともに「共創」し、地域自らがデザインする地域公共交通の実現を図る。

（1）南予南部交通アクセス向上検討会の開催

第 1 回 令和 7 年 3 月 25 日

（2）予土線沿線地域における交通実態調査

予土線や路線バスの利用者及び沿線地域の住民に対し、地域公共交通における住民の意識調査と、住民等の現在の公共交通への評価、ニーズについて検証した。

（3）予土線及び路線バスのモーダルミックスの実証実験

JR 線（予讃線宇和島駅～予土線松丸駅）と宇和島自動車（宇和島～虹の森公園前線、日吉・野村線とのモーダルミックス（輸送資源の総動員による移動手段の確保）により幹線である予土線の利便性向上を図る実証実験を実施した。

令和6年度収支決算(案)

収入額	6,032,243円
支出額	4,710,532円
差引額	1,321,711円

(1) 収入の部

(単位:円)

費目	予算額	決算額	差引増減	備考
負担金	5,950,000	5,950,000	0	県からの負担金
補助金	5,578,000	0	△ 5,578,000	国補助申請取り止め
その他収入	1,000	2,785	1,785	預金利息
繰越金	79,458	79,458	0	前年度からの繰越金
小計	11,608,458	6,032,243	△ 5,576,215	

(2) 支出の部

(単位:円)

費目	内訳	予算額	決算額	差引増減	備考
事務局費	会議費	1,435,000	70,392	1,364,608	会議謝金・旅費
	事務費	48,000	3,740	44,260	振込手数料
事業費	調査費等	10,045,000	4,636,400	5,408,600	委託料
予備費		80,458	0	80,458	
小計		11,608,458	4,710,532	6,897,926	

監査報告書

令和6年度愛媛県地域公共交通網再編協議会の会計事務について監査した結果、適正に処理されていることを認めます。

令和7年 5月30日

愛媛県地域公共交通網再編協議会

(職名) (氏名)

監事 監査委員 三浦正穂 

令和 7 年度事業計画(案)

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成 19 年法律第 59 号。以下「法」という。）第 5 条第 1 項の規定に基づく愛媛県地域公共交通計画に関して、必要な協議及び調査事業を実施する。

1 運営に関する事業（776 千円）

愛媛県地域公共交通計画に位置付けた各種事業を着実に実行するため、及び事業の実施状況の把握・評価等を行うため、協議会及び必要に応じてワーキンググループを開催する。

2 南予南部共創型交通アクセス向上に関する事業（13,651 千円）

予土線沿線を含む南予南部地域において、医療、教育、福祉などの関係機関における移動ニーズもふまえながら、新たな交通体系を当該機関等とともに「共創」し、地域自らがデザインする地域公共交通の実現を図る。

（1）南予南部交通アクセス向上検討会の開催

国、市町、交通事業者だけでなく、医療機関や教育機関、福祉団体等も参画する検討会を開催し、利用者目線で地域公共交通のアクセス向上を検討する。

（2）予土線・宇和島自動車路線バスにおけるモーダルミックスの実証実験

宇和島駅～松丸駅間を有効区間とする JR 及び路線バスの乗車券類で、鉄道及びバスの相互利用を可能とするモーダルミックス実証実験を R 6 年度事業に拡充して行うこと で公共交通の利便性向上による利用促進効果を検証する。

（3）予土線 Wi-Fi 設置の実証実験

JR 予土線の車内に Wi-Fi 環境を整え、乗客の利用率やアンケートにより利便性向上度や利用促進効果を検証する。

（4）電動シェアモビリティサービス導入の実証実験

南予南部の鉄道やバスの交通結節点等に、電動キックボード等のシェアモビリティサービスの貸出ポートを設置し、公共交通から観光地等までの二次交通を補完する実証実験を行い、予土線を含めた地域公共交通の利用促進策としての可能性を検証する。

令和7年度収支予算(案)

収入額	15,750 千円
支出額	15,750 千円

(1) 収入の部

(単位:千円)

費目	予算額	前年度予算額	差引増減	備考
負担金	7,808	5,950	1,858	県からの負担金
補助金	6,619	5,578	1,041	国庫補助
その他収入	1	1	0	預金利息
繰越金	1,322	80	1,242	前年度からの繰越金
合計	15,750	11,609	4,141	

(2) 支出の部

(単位:千円)

費目	内訳	予算額	前年度予算額	差引増減	備考
事務局費	会議費	1,103	1,435	△ 332	会場使用料、旅費、謝金等
	事務費	68	48	20	消耗品費、振込手数料等
事業費	調査費等	13,256	10,045	3,211	委託費
	予備費	1,323	81	1,242	
	合計	15,750	11,609	4,141	